

家庭科における生活の見方・考え方をいつも身近に

平成29年改訂の新学習指導要領では、家庭科が学習対象としている家族や家庭、衣食住、消費や環境などに関わる生活事象を、●協力・協働 ●健康・快適・安全 ●生活文化の継承・創造 ●持続可能な社会の構築等の視点で捉えています。生涯にわたって自立し共に生きる生活を創造できるよう、これらの視点を働かせて、よりよい生活を営むために工夫することが示されました。

そこで、いつでも見方・考え方を学びの中で働かせられるよう、4つの見方・考え方を四つ葉のクローバーで表現しました。

クローバーは教科書の中でも36,122,126,127ページに配置し、それぞれの見方・考え方は♥♦♣♠の4つのマークをつけ、案内役のキャラクターのふきだし近くに配置しています。

キャラクターの話す言葉が家庭科における見方・考え方を働かせられる手助けをしています。

これまでの学習から考える、家庭の仕事に取り組む4つの視点

協力・助け合い

・食事のしたくて食器を出してテーブルにならべる。

健康・快適・安全

・使った用具はもとの場所にもどす。

生活文化

・家族みんなでお茶をいれていただく。

持続可能な社会

・できるだけごみを出さないように調理する。

家庭の仕事の学習ページに掲載している4つの視点

●教科書36ページ



案内役の四つ葉のクローバーです。家庭科の見方・考え方(♥♦♣♠)や学習のヒントを伝えるよ。みなさんで名前をつけてね。



まずはごみとなるもの自体を減らすリデュースが大切だね。

●教科書32ページ

「物を生かして使う工夫—ごみを減らす3Rと5R」



地域によってさまざまなみそがあるね。自分の地域のみそを調べてみよう。

●教科書49ページ

「ご飯とみそしるは食事の基本」



分担とは仕事や責任などを分けあって受けもつことだよ。

●教科書35ページ

「工夫して仕事しよう」



自然を利用しながら快適にすごせるね。

●教科書97ページ

「エコ生活ですずしさアップを工夫しよう」

生活の見方・考え方の4つの視点です。

♥ 協力する・助け合う

生活をよりよくするために協力していくにはどうしたらよいか。

♠ 健康・快適・安全な生活をする

自分や家族が、健康で快適・安全な生活をするにはどうしたらよいか。

生活の見方・考え方 4つの視点

♦ 人びとの生活や文化の大切さに気づく

生活で使っているものや食べているものなどは、生活の中でどのように引きつがれたり、新しく創られたりしているか。

♣ 持続可能な社会をめざす

毎日の生活で使っているものや食べているものなどは、自分の生活や身近な環境とどのように関わっているか。